

私は日本語を勉強するためにアメリカから神戸に来ました。七週間の留学で毎日午前中授業があって、午後は本や画面を見ないで過ごしたかったです。友達に「合気道やってみたらどう？」と言われて、ずっと武道に興味があったことを思い出した。しかし、始めることにはいつも緊張していました。せいぶ館が日本語学校に近かったので、ある水曜日に挑戦心を持って明子先生のレディースクラスに参加しました。

次の七週間、明子先生、藤井先生、そして中尾先生の稽古に参加できました。初めてせいぶ館に来た時、まったくの初心者でした。七週間後もまったくの初心者ですが、受け身を失敗してできた青あざがそろそろ消えています。日本語学校での卒業スピーチでは、「留学で一番大切な思い出」としてせいぶ館での稽古を話題にしました。

三つの合気道に驚いたこと

- 一 稽古には笑顔や笑いです。意外と、ルールや習慣が多い道場に、自然に笑ったり、話をしたりすることも多いです。
- 二 説明や指導があります。まだ目で盗むことができない初心者が説明を聞いて技を理解できます。
- 三 難しいのは技を理解するではなく、理解したことをまだ上手に使える体に忍耐を培うことです。

これから、アメリカのピッツバーグで合気道を続けます。この長い旅の一步がせいぶ館だった、心から感謝しています。明子先生、藤井先生、中尾先生、稽古を参加させてくださってありがとうございます。先生のおかげで、色々な種類の合気道を見られてよかったです。先輩の皆さん、私と忍耐強く練習し、色々説明して下さったことに感謝します。

せいぶ館の皆さん、新年のご健康をお祈り申し上げます。